



市民ネットワーク鶴ヶ島は  
大野ひろ子を  
市議会に送っています



6月議会報告 2016.8  
発行 / 市民ネットワーク鶴ヶ島  
鶴ヶ島市富士見3-27-106  
<http://www.tsuru-net.org/>  
eメール: [tsurunetorg@gmail.com](mailto:tsurunetorg@gmail.com)



## 避難支援の必要な人も

# 誰もが不安のない災害対策を!!



今年、4月14日以降、熊本県と大分県で相次いで地震が発生しています。避難者数は、最多で18万3882人に上りました。

いつ起きるかわからない大きな災害。自分や家族の避難経路や避難所を確認していますか。

### 避難行動の支援のために

5年前の東日本大震災では、被災地全体の死者数のうち65歳以上の高齢者の死者数は約6割。聴覚など障がいのある方の死亡率は、被災住民全体の約2倍との報告でした。

〔内閣府「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」から〕  
2013年、共生のまちづくりを旨指して鶴ヶ島市障害者ネットワーク協議会が設立されています。

避難行動の支援について、多くの人にその必要性を知らせることから活動が始まりました。

一昨年からは、女性センターハローモニーを会場に、障がいのある方もない方もいっしょに避難訓練を開催し、僅かな時間ですが、お互いを知るきっかけとなっています。

地域には、高齢者や障がいのある方、幼い子どもや外国の方も、災害が起きた事に気づかない、一人では避難できない人がたくさんいます。

鶴ヶ島は、これまで大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、昨今の異常気象からみれば、ここは安全という保証はありません。

自主防災組織は、全国で8割を超えたが、十分に機能していないとの報道もあります。

避難支援の必要な方も、一人で行動できる人も、誰もが無事でいられるように、市の強いバックアップが必要ではないでしょうか。

### 関連ワード

「福祉避難所」鶴ヶ島市では、老人福祉センター「逆木荘」と女性センター「ハローモニー」を二次避難所として開設し、利用する計画になっています。

「避難行動要支援者名簿」平成25年、国は災害対策基本法を改正し、名簿の作成を市町村に義務付けています。